

## 東大方式 持参薬評価テンプレートの利用にあたって

本学会会員の方々からリクエストが多いことから、関係者と協議の上、標記テンプレートおよび利用説明書を HP に掲載することとしました。

このテンプレートは、入院患者の処方適正化に役立てることを目的として、東京大学医学部附属病院の薬剤部、老年病科、企画情報運営部などによるチームで作成し、2016 年より運用しているものです。病棟薬剤師がポリファーマシー状態をチェックし、電子カルテ上で受持ち医に処方提案するための様式ですが、紙でも、外来でも用いることは可能です。本テンプレートの利用により、薬剤総合評価調整加算（外来では薬剤総合評価調整管理料）を効率的に取得することも可能になります。また、東大病院では 6 種類以上を多剤服用のカットオフとして開始しましたが、診療科によっては 10 種類以上をカットオフとしており、各施設の状況により適宜変更ください。

本テンプレートを利用した成果は是非、当学会などで発表いただければと思いますが、本テンプレートの効果を検証するために、多施設のデータをまとめて解析したいとも考えます。差し支えなければ、東大病院老年病科 (<http://geriatrics.umin.jp/>) お問い合わせコーナーにご一報いただければありがたく存じます。また、その際は倫理委員会の承認もお忘れないうようお願いいたします。その他にご質問がある場合も上記にお問い合わせください。

以上、少しでも皆様のお役に立てば幸いです。

2019 年 6 月

東京大学医学部附属病院 関係者一同